

# 「北海道の人口減少などに関する意識調査」結果の概要

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

道民の人口減少などに関する意向や意識を調査し、第2期北海道創生総合戦略の数値目標・KPIの進捗状況を確認するとともに、今後の人口減少対策に関する施策形成に反映させることを目的とする。

### 2. 調査項目及び設問数

	調査項目	設問数
I	北海道の人口減少について	6問
II	道内地域とのつながりや愛着について	3問
III	居住地について	7問
IV	その他道政運営に関することについて	10問

(計：4項目 26問)

### 3. 調査の方法

- (1) 調査地域 北海道全域
- (2) 調査対象 道内に居住する満18歳以上の個人
- (3) 標本数 1,500サンプル
- (4) 地点数 150地点
- (5) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (6) 調査方法 郵送配付、郵送回収及びWebによる回答
- (7) 調査期間 令和2年(2020年)8月～9月
- (8) 有効回答数(率) 771 (51.4%)

### 4. 回答者の特性

地域	道央	道南	道北	オホーツク	十勝	釧路・根室
	64.1%	8.0%	11.7%	5.1%	6.1%	5.1%

人口規模	札幌市	人口10万人以上の市	人口10万人未満 1万人以上の市町村	人口1万人未満の市町村
	37.5%	26.5%	21.0%	15.0%

年代別	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
	5.3%	11.3%	19.6%	16.5%	17.4%	27.9%	2.1%

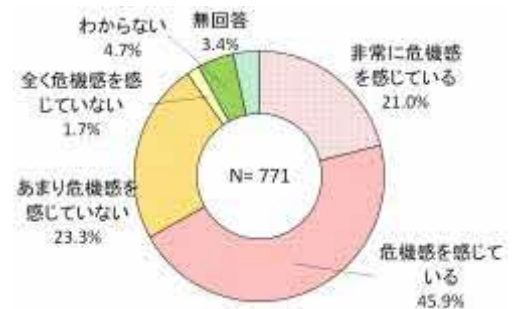
## 【主な調査結果】

- 選択肢の中から1つを選ぶ設問については、全選択肢を記載。
- 選択肢の中から複数を選ぶ設問については、回答数の多かったもの上位3つまでを記載。

### I 北海道の人口減少について（6問）

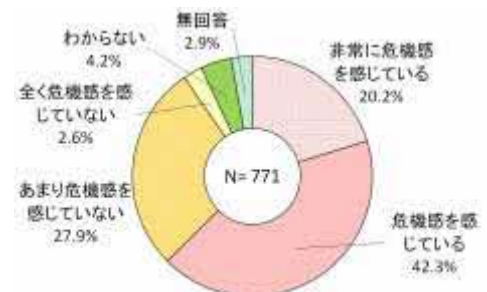
#### 問1 北海道の人口減少に対する危機感

- ア. 非常に危機感を感じている (21.0%)
- イ. 危機感を感じている (45.9%)
- ウ. あまり危機感を感じていない (23.3%)
- エ. 全く危機感を感じていない (1.7%)
- オ. わからない (4.7%)
- 無回答 (3.4%)



#### 問2 現在住んでいる市町村の人口減少に対する危機感

- ア. 非常に危機感を感じている (20.2%)
- イ. 危機感を感じている (42.3%)
- ウ. あまり危機感を感じていない (27.9%)
- エ. 全く危機感を感じていない (2.6%)
- オ. わからない (4.2%)
- 無回答 (2.9%)



#### 問3 人口減少による影響を感じること（複数回答）

※問2でア又はイを選択した方のみ回答

- 1. 若者が減少し地域に活気がなくなった (63.9%)
- 2. 公共交通機関の減便・廃止等により交通の便が悪くなった (40.5%)
- 3. 担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になった (37.1%)

#### 問4 人口減少が進んだ場合、特に不安を感じること（複数回答）

- 1. 医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる (49.4%)
- 2. 医療、福祉サービスが行き届かなくなる (39.3%)
- 3. 公共料金が高くなる (38.1%)

#### 問5 人口が減少しても心豊かに暮らし続けられるために重要な取組（複数回答）

- 1. 地域で働く人材の確保や育成、安定した雇用の確保 (65.0%)
- 2. 地域の医師確保など必要な医療や福祉が受けられる環境の整備 (55.1%)
- 3. 子育て環境の整備や子育て世帯への支援 (51.6%)

#### 問6 札幌市に人口が集中する理由（複数回答）

- 1. 仕事の選択肢が多い (80.3%)
- 2. 公共交通機関が整っている (58.4%)
- 3. 医療や介護等福祉が充実している (47.3%)

## II 道内地域とのつながりや愛着について（3問）

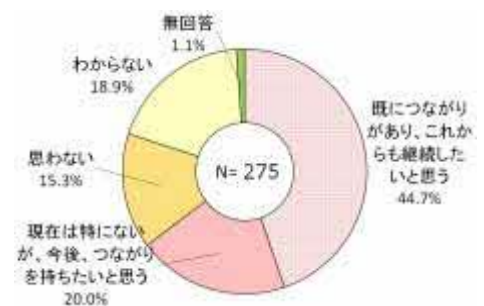
※問7～9は、札幌市に住んでいる方のみ回答

### 問7 札幌市以外の道内の特定の地域とのつながりや愛着（複数回答）

1. 過去に住んでいたことがある (58.5%)
2. お盆や正月などに帰省している (40.0%)
3. 観光や旅行で頻繁に訪問している (24.0%)

### 問8 今後の札幌市以外の特定の地域とつながり

- ア. 既につながりがあり、これからも継続したいと思う (44.7%)
- イ. 現在は特にないが、今後、つながりを持ちたいと思う (20.0%)
- ウ. 思わない (15.3%)
- エ. わからない (18.9%)
- 無回答 (1.1%)



### 問9 地域とのつながりを深めるために必要だと思うこと（複数回答）

※問8でア又はイを選択した方のみ回答

1. 仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保 (53.9%)
2. 移動や滞在に伴う金銭的負担の軽減 (41.6%)
3. 家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在 (27.0%)

### Ⅲ 居住地について（7問）

#### 問 10 現在住んでいる市町村に住み続けたいか

- ア. できれば今と同じ市町村に住み続けたい (74.2%)
- イ. できれば道内の他の市町村へ移りたい (11.0%)
- ウ. できれば北海道以外へ移りたい (4.8%)
- エ. よくわからない (7.9%)
- 無回答 (2.1%)



#### 問 11 何が充実していれば、同じ市町村に住み続けることができるか（複数回答）

- 1. 安心できる医療・福祉 (67.8%)
- 2. 食料品や日用品などの買い物の利便性 (40.1%)
- 3. 安定した生活ができる雇用の場 (36.4%)

#### 問 12 市町村をまたぐ転出の経験

- ア. ある (65.1%)
- イ. ない (33.1%)
- 無回答 (1.8%)

※問 13～15 は、問 12 で「ア. ある」を選択した方のみ回答

#### 問 13 道内市町村から東京圏への転出経験

- ア. ある (21.5%)
- イ. ない (77.1%)
- 無回答 (1.4%)

#### 問 14 東京圏への主な転出理由

※問 13 で「ア. ある」を選択した方のみ回答

- ア. 進学 (21.3%)
- イ. 就職・転職 (32.4%)
- ウ. 転勤 (34.3%)
- エ. 退職 (0.9%)
- オ. 両親など家族の転出に合わせて (8.3%)
- カ. 結婚・離婚 (0.0%)
- キ. 妊娠・出産・子育て (0.0%)
- ク. 病気などの健康上の理由 (0.0%)
- ケ. 親の介護等 (0.0%)
- コ. その他 (2.8%)

**問 15 かつて住んでいた市町村に戻りたいと思うことがあるか**

- ア. 思うことがある (33.0%)
- イ. 思わない (62.0%)
- 無回答 ( 5.0%)

※ 問 15 で「ア. 思うことがある」と回答した理由

- a. 住み慣れた場所の方が居心地よかった (36.7%)
- b. 親や親戚が高齢になった (21.7%)
- c. 地元友人や知人が多い (14.5%)
- d. 経済的な理由 ( 5.4%)
- e. 災害などのリスク回避 ( 1.8%)
- f. 感染症などのリスク回避 ( 0.6%)
- g. その他 (16.3%)
- 無回答 ( 3.0%)

**問 16 同じ市町村に住み続けている理由 (複数回答)**

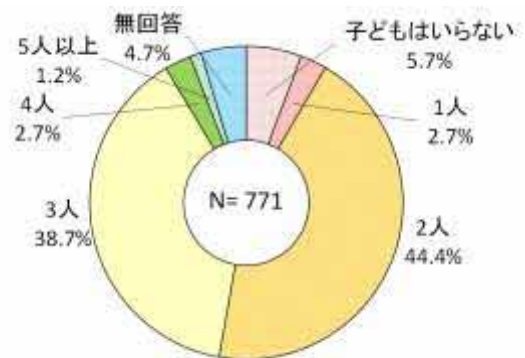
※問 12 で「イ. ない」を選択した方のみ回答

- 1. 現在の生活環境で特に困っていることがない (47.5%)
- 2. 当該市町村に愛着を持っている (42.4%)
- 3. 当該市町村で結婚した (42.4%)

## IV その他道政運営に関することについて (10問)

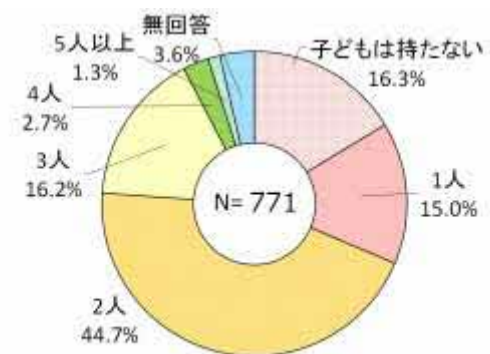
### 問 17 理想的な子どもの人数

- ア. 子どもはいらない (5.7%)
- イ. 1人 (2.7%)
- ウ. 2人 (44.4%)
- エ. 3人 (38.7%)
- オ. 4人 (2.7%)
- カ. 5人以上 (1.2%)
- 無回答 (4.7%)



### 問 18 実際に持つつもり (又は実際に持った) の子どもの人数

- ア. 子どもは持たない (16.3%)
- イ. 1人 (15.0%)
- ウ. 2人 (44.7%)
- エ. 3人 (16.2%)
- オ. 4人 (2.7%)
- カ. 5人以上 (1.3%)
- 無回答 (3.6%)



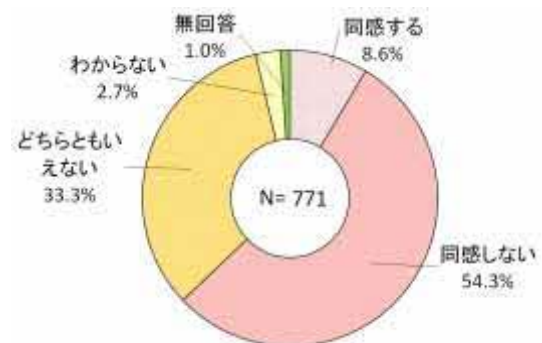
※問 19 は、問 18 で選んだ「実際に持つつもりの子どもの数」が、問 17 で選んだ「理想とする子どもの数」に比べて少ない方が回答

### 問 19 その理由 (複数回答)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから (38.0%)
2. 年齢的に子どもを生むのは大変だから (22.1%)
3. ほしいけれども子宝に恵まれないから (14.8%)

### 問 20 「男は仕事、女は家庭」という考え方

- ア. 同感する (8.6%)
- イ. 同感しない (54.3%)
- ウ. どちらともいえない (33.3%)
- エ. わからない (2.7%)
- 無回答 (1.0%)



### 問 21 北海道全体での男女の地位の平等性

- ア. 男性の方が非常に優遇されている (13.4%)
- イ. どちらかといえば男性の方が優遇されている (57.1%)
- ウ. 男女平等になっている (9.6%)
- エ. どちらかといえば女性の方が優遇されている (3.4%)
- オ. 女性の方が非常に優遇されている (0.5%)
- カ. わからない (15.2%)
- 無回答 (0.9%)

### 問 22 アイヌの人たちについて知っていること

- ア. アイヌの人たちがいることを知っており、アイヌが我が国の先住民族であることを知っている (84.7%)
- イ. アイヌの人たちがいることを知っているが、アイヌが我が国の先住民族であることは知らない (7.3%)
- ウ. アイヌの人たちがいることを知らない (0.9%)
- エ. わからない (5.8%)
- 無回答 (1.3%)



### 問 23 アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていることを知っているか

- ア. 知っており、興味を持っている (32.8%)
- イ. 知っているが、興味はない (49.7%)
- ウ. 知らなかったが、知りたくなった (3.8%)
- エ. 知らないし、興味はない (4.4%)
- オ. わからない (8.0%)
- 無回答 (1.3%)

### 問 24 アイヌ関連イベント等への参加経験

- ア. サークルなどに入り活動している、又は、したことがある (0.4%)
- イ. 機会があればアイヌ関連イベントなどに積極的に参加している (1.3%)
- ウ. 開催されていたアイヌ関連イベントなどに参加したことがある (20.4%)
- エ. 参加したことはない (71.7%)
- オ. わからない (4.7%)
- 無回答 (1.6%)

### 問 25 アイヌの人たちに関する施策のうち、重点的に行うべき取組 (複数回答)

1. アイヌ文化の保存・伝承活動などへの支援 (42.7%)
2. アイヌの歴史・文化等についての学校での教育 (29.3%)
3. アイヌ文化を保存・伝承する担い手の育成 (28.7%)

## 問 26 現在の生活環境などの満足度

※以下、無回答は除いて記載

項 目	1	2	3	4	5
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
(1)食料品などの日々の買い物	35.9%	31.8%	16.6%	8.9%	3.8%
(2)電気やガス、水道などの公共料金	10.4%	18.3%	33.3%	20.2%	14.9%
(3)病院などの医療環境	21.4%	27.9%	23.0%	15.2%	8.7%
(4)子どもの医療費など市町村の医療費助成制度	10.8%	16.5%	46.6%	10.6%	6.1%
(5)今のあなたの健康状態	17.0%	30.4%	27.6%	15.3%	6.5%
(6)介護などの福祉サービス	5.8%	16.3%	54.9%	11.7%	5.2%
(7)保育園や幼稚園など	8.4%	17.6%	52.5%	7.5%	3.4%
(8)児童館や子育てサロンなどの子育て支援環境	7.3%	15.2%	55.6%	7.8%	2.9%
(9)小中学校や高等学校など教育環境	7.8%	19.3%	46.3%	11.9%	3.6%
(10)大学や専門学校などの高等教育機関	4.4%	12.2%	47.9%	13.2%	10.5%
(11)文化、スポーツなどの施設	7.7%	23.5%	39.6%	15.7%	6.1%
(12)バスや鉄道などの公共交通機関	11.9%	22.6%	24.0%	24.0%	12.6%
(13)高速道路や高規格道路などの整備状況	13.1%	23.7%	37.7%	11.5%	6.9%
(14)郵便や配送サービスなど	25.4%	36.7%	27.5%	4.7%	1.6%
(15)災害に対する防災、減災対策	6.4%	21.1%	51.9%	11.4%	4.7%
(16)防犯対策など地域の治安	8.4%	25.4%	44.9%	13.0%	3.9%
(17)まちの景観や自然環境など	14.1%	36.1%	32.4%	9.9%	2.7%
(18)町内会などの地域コミュニティ	7.9%	19.3%	51.2%	12.1%	4.5%
(19)家族関係	41.2%	31.6%	17.1%	3.2%	2.1%
(20)友人関係	31.3%	33.2%	26.7%	3.0%	1.2%
(21)恋愛関係	16.2%	11.2%	47.5%	4.0%	2.6%
(22)学校や職場などの人間関係	10.5%	26.6%	36.3%	7.5%	3.9%
(23)収入や家計	9.1%	21.0%	29.8%	21.4%	13.2%
(24)安定した雇用や安心して働ける環境	7.8%	17.0%	35.1%	17.9%	9.6%
(25)現在の仕事のやりがい	11.8%	21.4%	37.0%	10.5%	5.2%
(26)趣味や娯楽	12.1%	28.7%	34.4%	12.6%	4.2%
(27)他の地域に誇れる地元の名物や名所など	11.2%	22.0%	39.3%	13.4%	6.6%
(28)生活全般	13.1%	37.7%	33.7%	8.8%	3.2%